

ビルングシステム株式会社

2022年12月期決算説明資料

2023年2月28日
代表取締役社長 江田敏彦

1. 2022年12月期 決算概要

1.1 2022年12月期 決算総括

売上高

3,434百万円 (前期比 +9.3%)

- 前期比291百万円増加。主因はクイック入金のスポンツ売上215百万円の増加、定常売上の増加65百万円によるもの。

営業利益

481百万円 (前期比 +39.4%)

- 前期比136百万円増加。
主因は利益率の高いクイック入金の定常売上増加65百万円、PayBの取扱件数増加に伴う利益率改善

親会社株主に帰属する当期純利益

323百万円 (前期比 +44.2%)

- 前期比99百万円増加。
営業利益、経常利益が上記のように前期比大幅に上回ったため、当期純利益も前期を上回る結果となったもの。

1.2 主要実績

既存サービスの安定運用と拡販の継続

- 学校法人向け学納金収納管理プラットフォーム「学費収納システム」ならびにスマートフォン決済アプリ「PayB for Campus」の提供開始
- 公共料金支払代行サービス拡大により、取手に事務センターを開設。
- クイック入金、収納代行の売上は過去ピークを達成。

スマートフォン決済サービス 「PayB」の展開

売上367百万円、加盟店数累計14,289社・団体

- 年間売上予算380百万円に対し96%の達成（定常売上は超過達成）
（今年度から純額表示となったため、前期比▲169百万円。総額表示では、+299百万円）
- 加盟店累計目標15,000社・団体に対し95%の達成（22年度4,937社・団体獲得）
- 接続金融機関数が21年度末45から22年度末633に拡大

キャッシュレス決済端末販売事業推進

売上410百万円

- 年間売上予算571百万円に対し72%の達成（前期比▲39百万円）
- 飲料自販機向け決済端末の売上が不芳であったが、Suica検定や開発等の受託により利益ベースでは期初予算の91%。

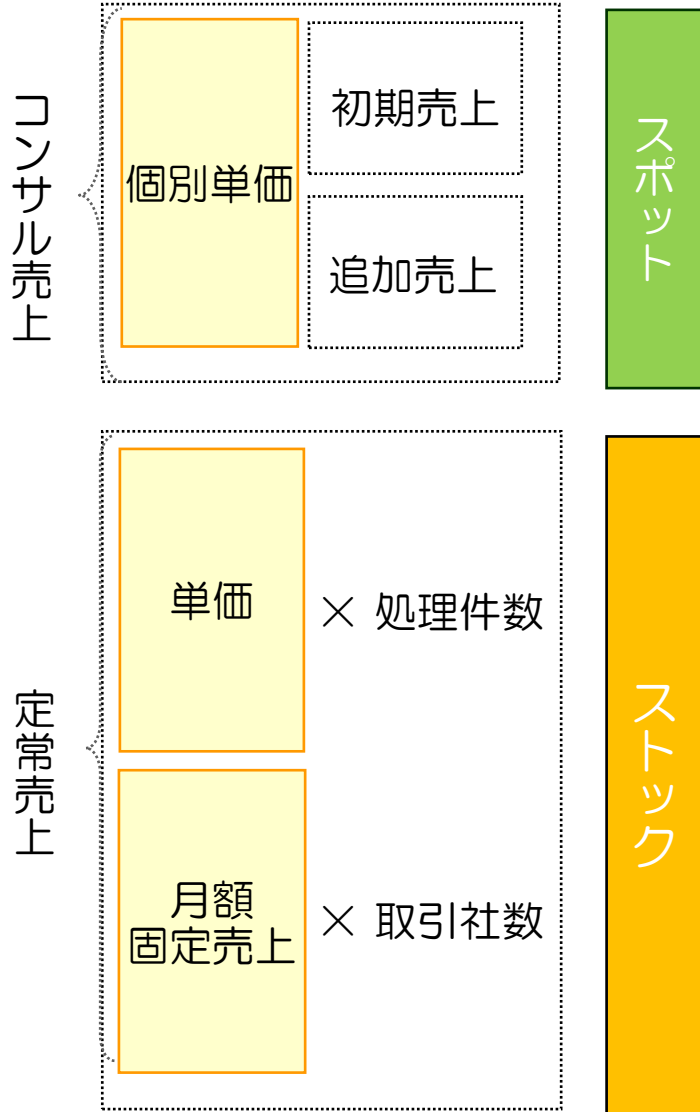
1.3 連結損益計算書の概要

単位：百万円

	2021年12月期		2022年12月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
売上高	3,143	100.0%	3,434	100.0%	9.3%
営業利益	345	11.0%	481	14.0%	39.4%
経常利益	345	11.0%	480	14.0%	39.1%
親会社株主に 帰属する当期 純利益	224	7.1%	323	9.4%	44.2%
EPS	35円20銭	-	51円36銭	-	

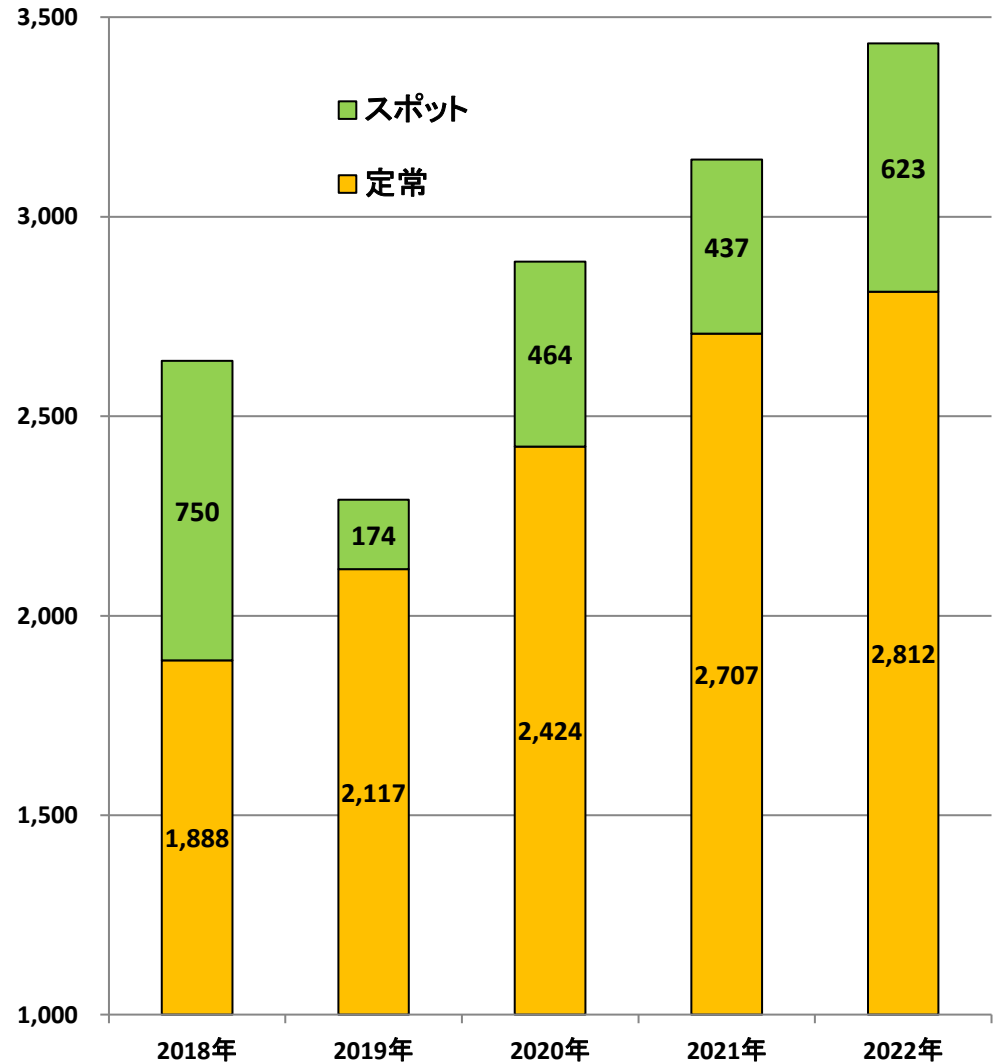
1.4 売上構造

定常（ストック）積上が基本



売上実績推移

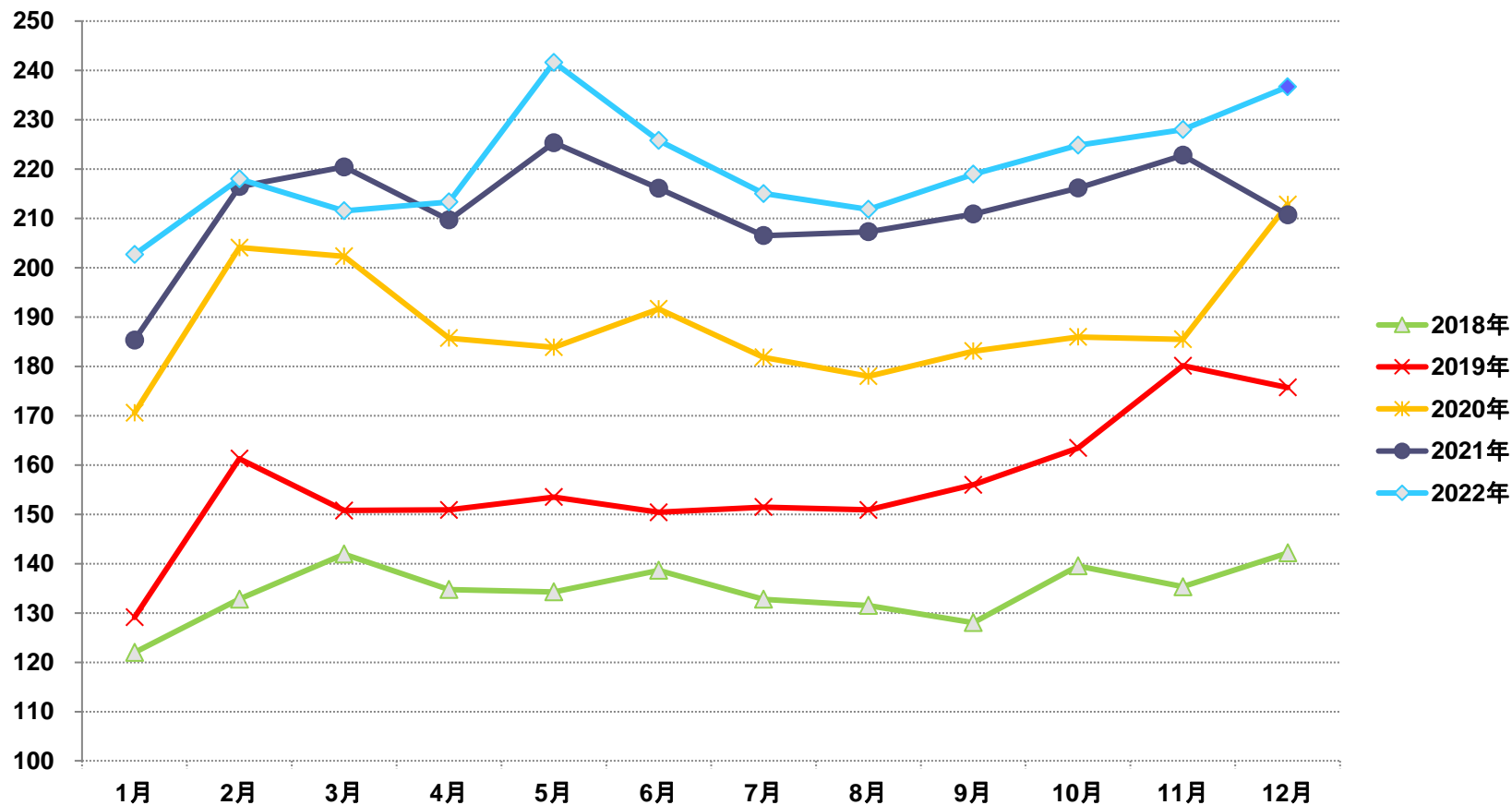
単位：百万円



1.5 定常月別売上推移

(百万円)

単体



1.6 サービス別売上推移

連結

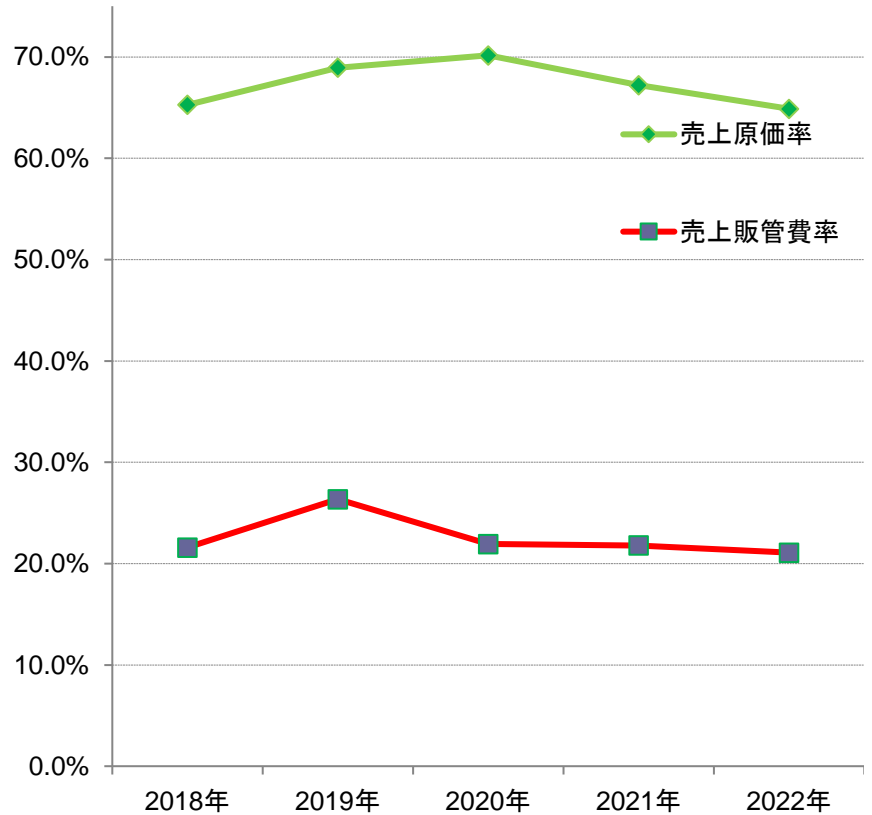
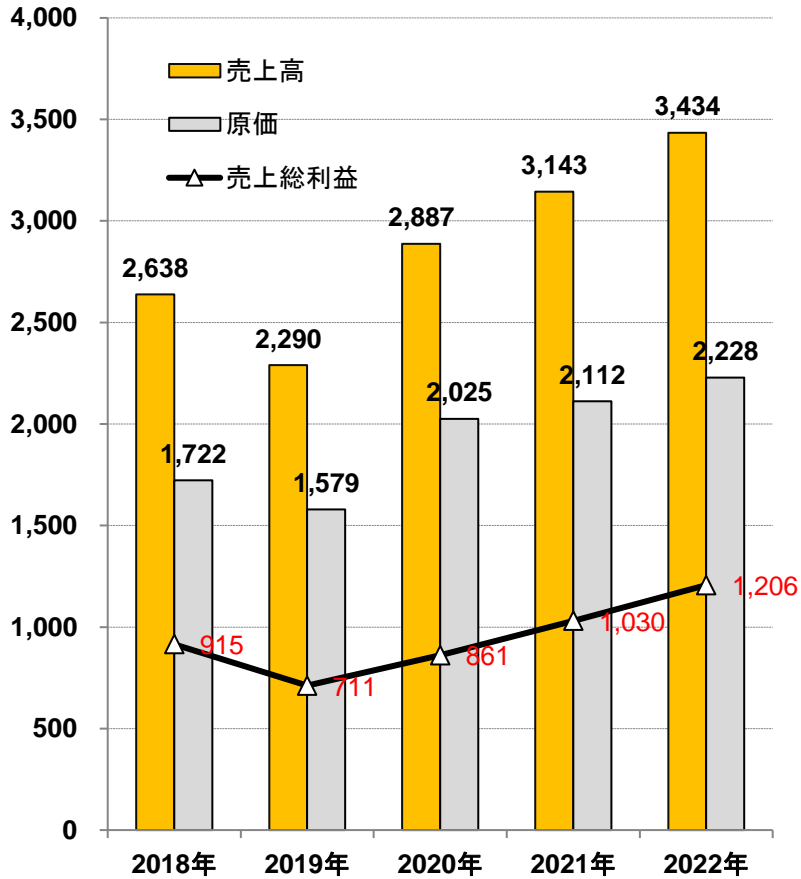
単位：百万円

		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
クイック入金	定常	396	386	489	547	611
	スポット	118	57	36	31	245
	合計	515	444	525	578	856
収納代行	定常	1,192	1,373	1,594	1,787	1,775
	スポット	147	42	69	39	78
	合計	1,338	1,416	1,663	1,827	1,853
送金代行	定常	107	157	124	130	144
	スポット	7	1	1	8	1
	合計	114	158	125	138	145
公共料金	定常	82	83	97	94	108
	スポット	4	3	2	5	4
	合計	85	86	99	99	112
キャッシュレス端末	定常	40	60	64	98	123
	スポット	474	59	349	352	287
	合計	514	119	413	449	410
ファイナンス他	定常	6	4	2	1	1
	スポット	0	0	0	0	0
	合計	6	4	2	1	1
その他	定常	67	54	52	50	50
	スポット	0	10	7	2	7
	合計	67	64	59	51	57
合計	定常	1,888	2,117	2,424	2,707	2,812
	スポット	750	174	464	437	622
	合計	2,639	2,291	2,887	3,143	3,434

1.7 収益構造

22年はPayBの売上のネット計上も影響し、原価率低下。
また営業経費の抑制運用により売上高販管比率低減傾向。

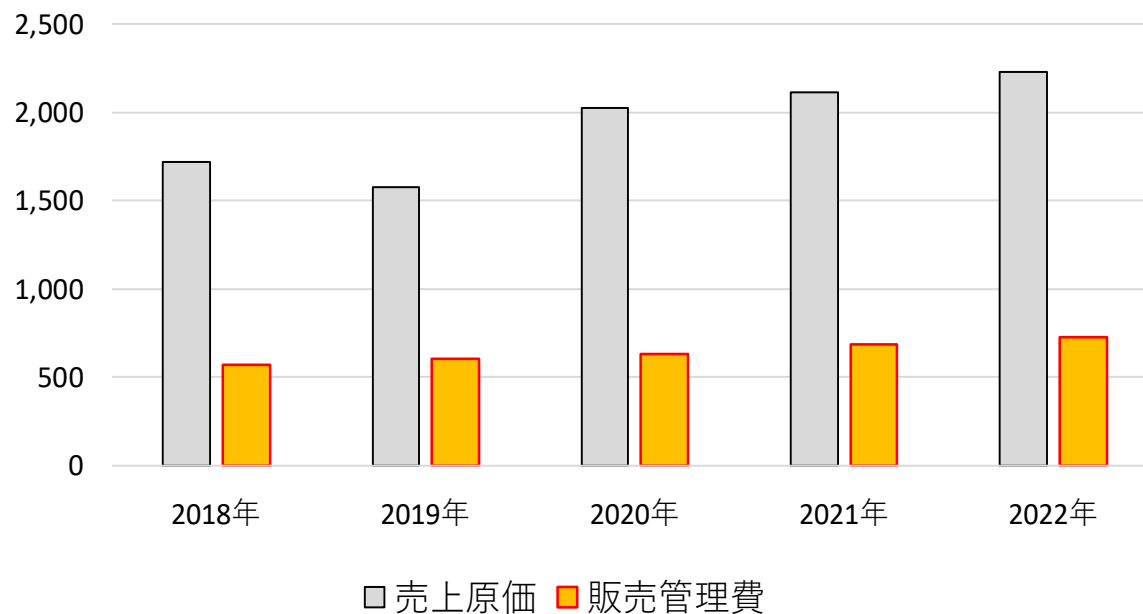
(百万円)



1.8 コスト構造

単位：百万円

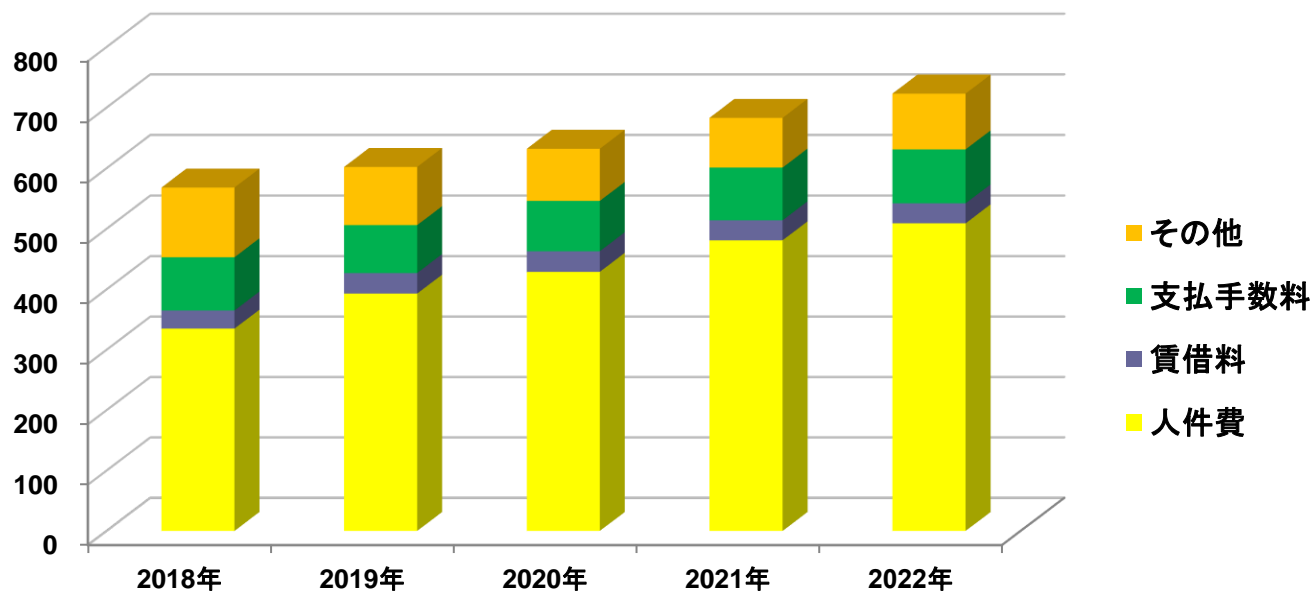
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
売上原価	1,722	1,579	2,025	2,112	2,228
販売管理費	569	603	633	684	724



1.9 販売管理費内訳

販売管理費実績推移（百万円）

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
人件費	335	393	429	481	509
賃借料	30	34	34	33	33
支払手数料	88	79	83	87	89
その他	115	96	86	82	92
合計	569	604	633	685	724



1.10 連結貸借対照表の概要

単位：百万円

	2021年12月期		2022年12月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
流動資産	15,755	98.3%	14,787	97.5%	△6.1%
固定資産	268	1.7%	374	2.5%	39.6%
資産合計	16,023	100.0%	15,161	100.0%	△5.4%
流動負債	13,921	86.9%	12,728	84.0%	△8.6%
固定負債	6	0.0%	69	0.4%	954.1%
負債合計	13,928	86.9%	12,798	84.4%	△8.1%
純資産合計	2,095	13.1%	2,363	15.6%	12.8%
負債純資産合計	16,023	100.0%	15,161	100.0%	△5.4%

1.11 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円

	2021年12月期	2022年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,331	△ 1,123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 86	△ 112
フリーキャッシュ・フロー	6,245	△ 1,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 155	△ 66
現金及び現金同等物の増減額	6,090	△ 1,303
現金及び現金同等物の期首残高	8,642	14,732
現金及び現金同等物の期末残高	14,732	13,428

増加要因として
 税前純利益 480百万円
 減価償却費 54百万円
 仕入債務増加 49百万円

減少要因として
 預り金減少 1,340百万円
 売上債権増加 51百万円
 立替金増加 250百万円

減少要因として
 有形固定資産取得 5百万円
 無形固定資産取得 11百万円
 敷金保証金差入 96百万円

減少要因として
 配当金の支払 62百万円

2. 2023年12月期 計画

① 既存サービスの安定運用と拡販の継続

- 基盤既存サービスからの安定的売上確保と更なる拡販
 - 既存のサービスを利用した新たなマーケットへの参入
 - サービス別担当制から顧客別担当制へ変更、クロスセル等により営業力強化
-
- 収納代行サービス
基盤ビジネスとして安定運用の継続、PayBの拡販による売上増加
 - クイック入金サービス
新規の証券・FX・資産運用事業者の確実な取込み
 - 公共料金支払代行サービス
取手事務センターへの業務移管の早期完了により、取扱いキャパの拡大
 - 学校法人向けサービスの強化
従来の大学受験料収納に加え、PayB for Campusを活用した新たなサービスの提供
WeChat、Alipayの実装により中国人留学生へ訴求

② スマートフォン決済サービス「Pay B」の展開 年間売上予算 605百万円（前年比 +238百万円）

基本戦略

- 国民年金保険料収納対応、地方税統一QRコード制度化対応に伴うPayBの利用促進策実施
- 金融機関との連携強化
→ 窓口業務の効率化、ATM連携等
- 学納金システムの拡張と横展開
- 公共サービス事業者、保険会社向けのペーパーレス請求・決済サービス展開

③ キャッシュレス決済端末事業の推進 年間売上予算530百万円（前年比+120百万円）

- Trio-iQ（オールインワン型決済端末）の拡販
- FinGo製券売機（FKシリーズ）の拡販
代理店営業強化・事業パートナーの開拓
リース販売・割賦販売
- Trio-iQ組込ロッカーの開発
- 端末開発のコンサルティングサービスと受託開発案件の受注の強化
- 検定業務の受託サービスを事業化

連結

単位：百万円

	2022年2月期		2023年12月期	
	実績	前期比	計画	前期比
売上高	3,434	9.3%	3,554	3.5%
営業利益	481	39.4%	400	△16.9%
経常利益	480	39.1%	400	△16.7%
親会社株主に 帰属する純利益	323	44.2%	246	△23.6%

POINTS

- 売上については22年度に大口スポット売上があった関係で、前年比3.5%の増加にとどまる
- 経費についてはオフィス移転一時費用110百万円計上。
- その他人件費、システム関係費用等将来の業容拡大に向けた先行投資を見込む。

2.3 販売管理費

単位：百万円

	2022年12月期 実績	2023年12月期 予算	差額
人件費	509	541	32
賃借料	33	55	22
支払手数料	89	161	72
その他	92	209	117
合計	724	965	241

- 人員増に伴う人件費増加32百万円
（原価部門労務費と合算すると78百万円増加）
- PayB、スマホマルチ決済関連広告宣伝費30百万円増加
- その他項目にオフィス移転費用110百万を見込む

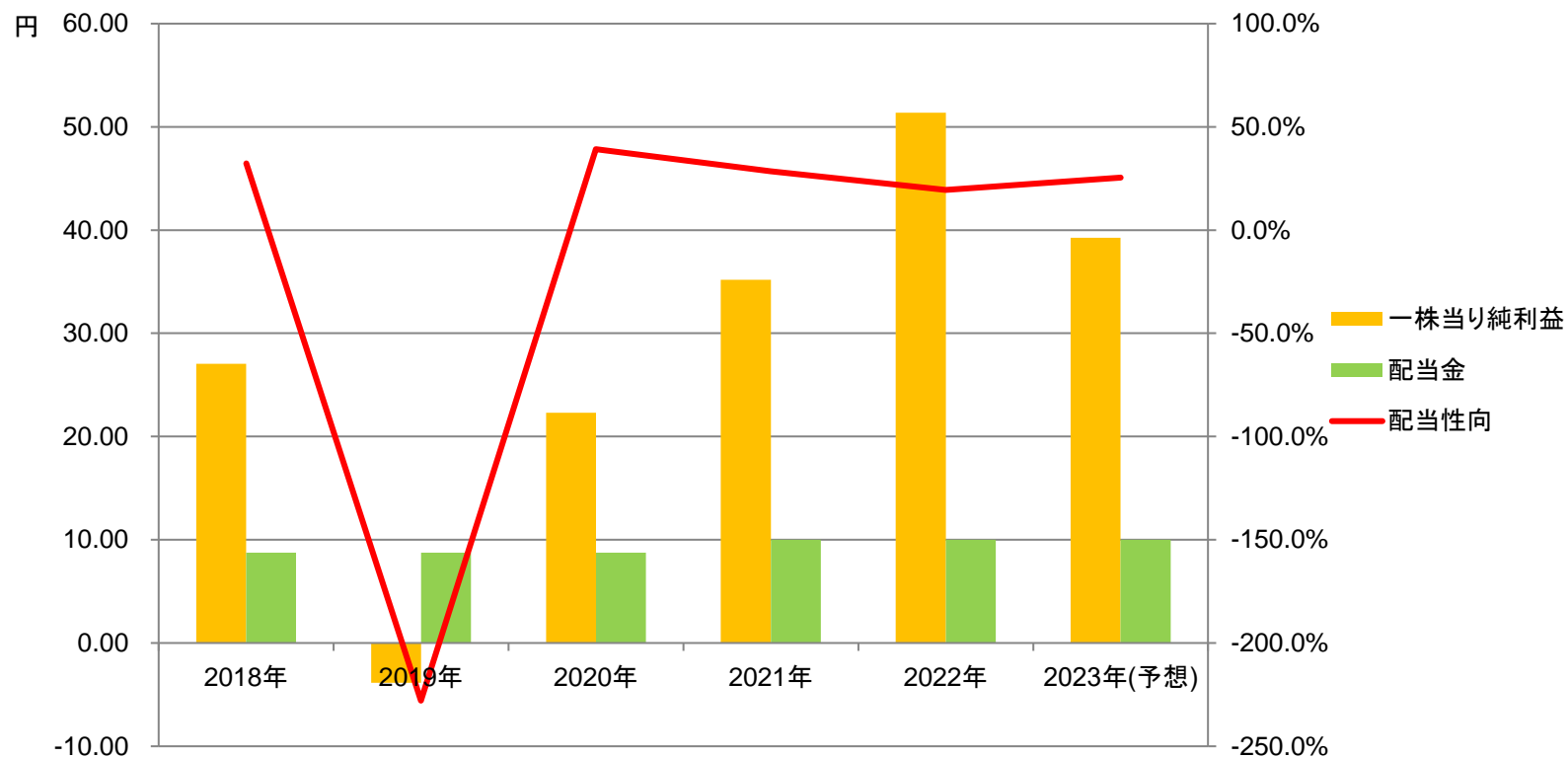
システム投資

ハード関連	40百万円	器具備品
スマホソフト開発	35百万円	外注加工費
商用環境維持・セキュリティ強化等	68百万円	保守費等

採用

純増ベースで20名を予算化（開発、営業、業務、管理等）

2023年度配当は、前年同額の10円を計画。



3 付属資料

3.1 会社概要

商号

ビルングシステム株式会社
(Billing System Corporation)

設立

2000年6月

資本金

1,237百万円

事業内容

自社決済プラットフォームを基盤とした
決済業務支援サービスの提供

免許

貸金業務取扱主任者
電子決済等代行業者

監査法人

太陽有限責任監査法人

売上推移

(百万円)

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
2,638	2,290	2,887	3,143	3,434

役員

役職	氏名	主要兼職先
代表取締役社長	江田敏彦	トランスファーネット(株)代表取締役、FinGo㈱取締役
取締役	住原智彦	トランスファーネット㈱監査役、FinGo㈱取締役、給与賞与㈱代表取締役
取締役	芳賀正彦	システムサービス本部長
取締役	金山佳正	FinGo㈱取締役
取締役	木幡徹	営業本部長
取締役(社外)	岡部長栄	
取締役(社外)	安孫子和司	(株)NTTデータフロンティア取締役執行役員
取締役(社外)	木崎重雄	キザキ・エンタープライズ㈱代表取締役
常勤監査役(社外)	大林幹司	
監査役(社外)	山田啓介	公認会計士・税理士山田啓介事務所主宰、有機合成薬品工業株式会社社外取締役(監査等委員)、有限会社山田隆彦取締役
監査役(社外)	中谷浩一	桃尾・松尾・難波法律事務所パートナー弁護士

主要株主の状況(上位10名)

(2022年12月末現在)

	株主名	所有株数	持株比率(%)
1	株式会社T-SKY	598,800	9.52%
2	OKASAN INTERNATIONAL (ASIA) LTD. A/C CLIENT	538,600	8.56%
3	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	440,000	7.00%
4	住原 智彦	232,500	3.70%
5	宗教法人宗三寺	168,000	2.67%
6	江田 敏彦	156,800	2.49%
7	MSCO CUSTOMER SECURITIES	129,000	2.05%
8	古川 博章	95,000	1.51%
9	株式会社三井住友銀行	80,000	1.27%
10	野村證券株式会社	53,000	0.84%

(自己株式274,982株を除いたベース)

3.2 事業コンセプト

- 決済情報に基づいた業務処理の効率化を図る「マネー・チェーン・マネジメント」の思想のもと、企業のあらゆる決済業務の大幅な効率化とコストダウンの実現を支援

総合決済サービス

売上（収納代行・請求）、仕入・購買・経費（送金・支払）、資金繰り（ファイナンス）支援等

決済のハブ（HUB）機能

企業とお客様、そして金融機関および決済機関をつなぐ決済ハブ（HUB）（決済インフラ）

約1,100の提携金融機関、決済機関

全国約1,100の金融機関※および決済機関との提携をベースに全国レベルでサービスをご提供

※メガバンク・都市銀行、ゆうちょ銀行、地方銀行、ネット銀行、信用金庫・信用組合、農協他

BtoCもBtoBも

法人向けサービス（BtoB）、個人向けサービス（BtoC）、オールラウンドな決済サービスをご提供

あらゆるチャネルで

パソコン、インターネット、スマートフォン、タブレット、コンビニ、店頭、携帯電話、ATM、自動販売機等、あらゆるチャネルからの決済をサポート

ワンストップで多様な決済

クレジットカード決済、口座振替、払込票、コンビニ決済、ペイジー決済、電子マネー決済等の多彩な決済手段をワンストップでご提供

安心のセキュリティ

クレジットカード業界の世界的セキュリティ標準であるPCIDSSの認証に加えプライバシーマーク、ISMS（ISO/IEC 17799）の認証も取得

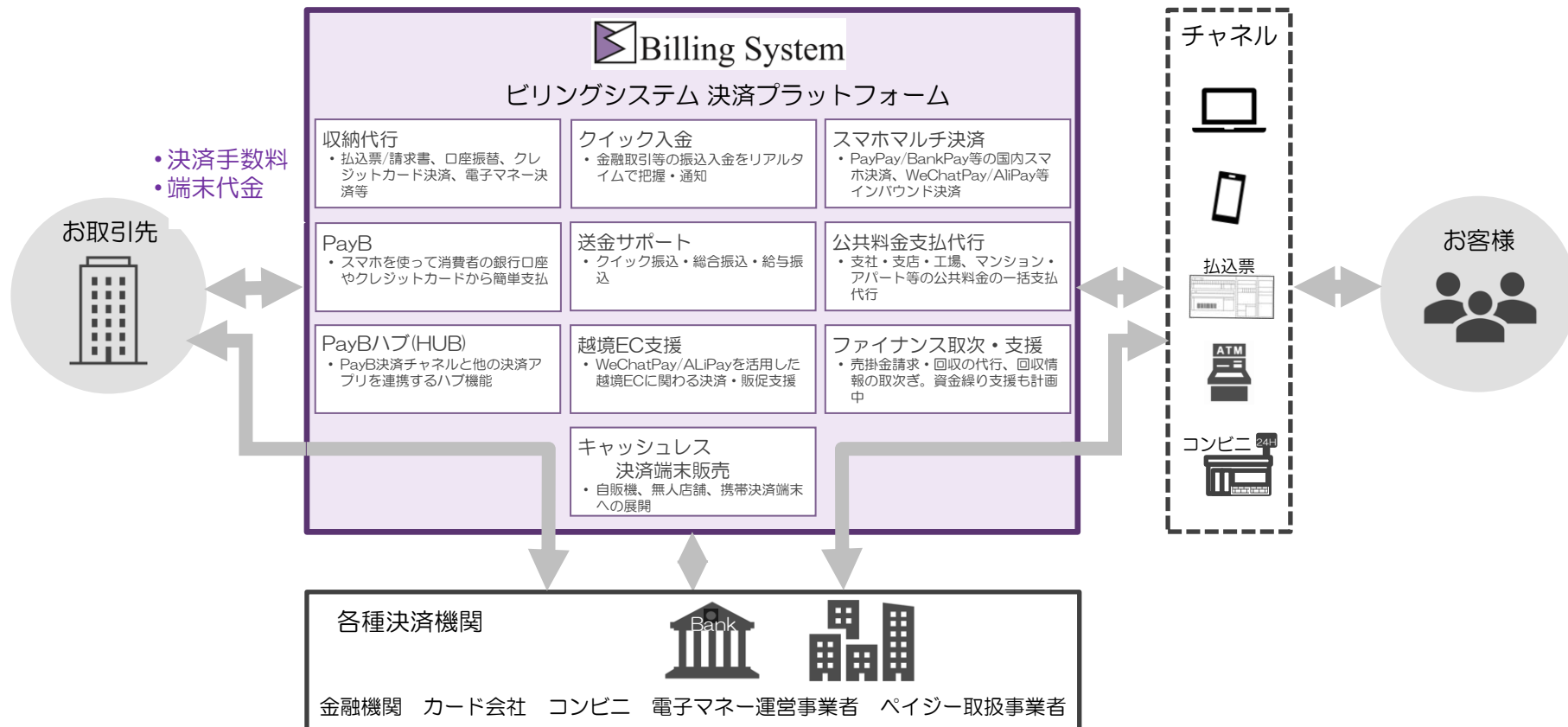


世界の最先端技術を

スマートフォン、タブレット、NFC等に関わる世界の最先端技術を調達最新技術で売上UP、収益向上、チャネル拡大の機会をご提供

Copyright © Billing System, Inc All Rights Reserved.

■ 企業の決済業務の効率化とコストダウンを可能にする決済プラットフォームサービスを提供

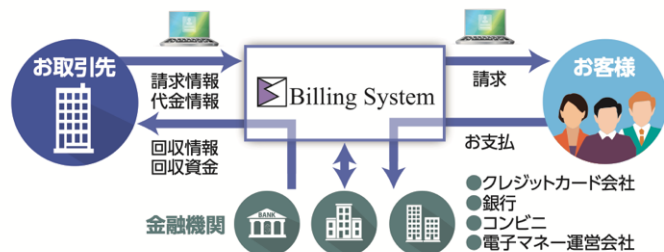


Copyright © Billing System, Inc All Rights Reserved.

3.4.1 提供サービス ①決済支援事業

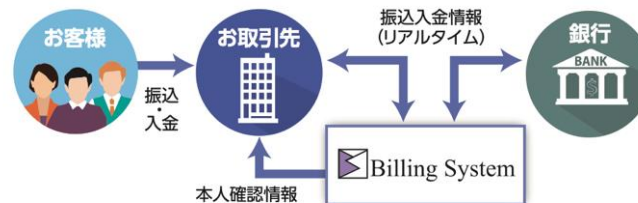
決済支援事業 収納代行(決済代行)

約1,100の金融機関・決済機関と提携し、クレジットカード決済、口座振替、コンビニ決済、ペイジー決済、電子マネー決済など多彩な決済手段をワンストップで提供します。



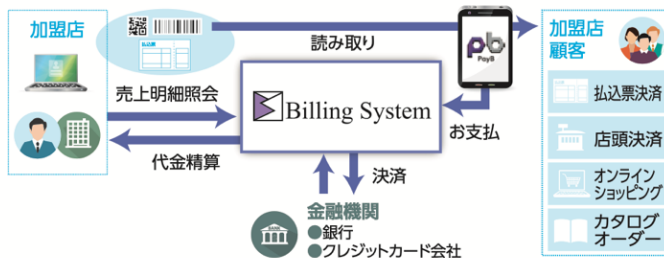
決済支援事業 リアルタイム入金確認(フイック入金)

株式や為替、商品先物取引など、入金確認に即時性が求められる取引における銀行振込の決済情報を24時間リアルタイムで処理・提供します。



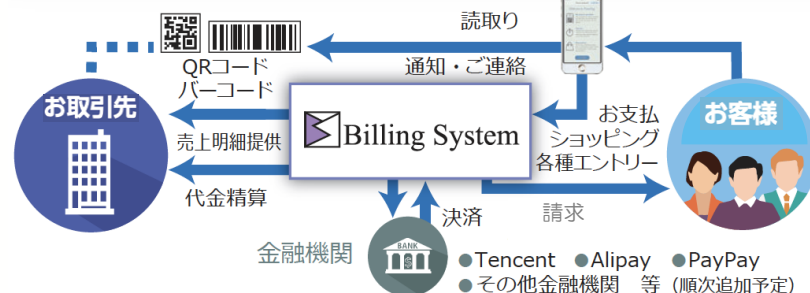
決済支援事業 スマートフォン決済サービスPayB

加盟店が表示、または生成したQRコードやバーコード(既存払込票)をスマートフォンのカメラで読み取るにより、事前登録した銀行口座(即時口座振替)・クレジットカードよりいつでもどこでもリアルタイムに決済いただけます。



決済支援事業 スマホマルチ決済

WeChatPay、Alipay、PayPay、BankPayなどあらゆるスマホ決済(随時追加予定)をワンストップでご提供します。

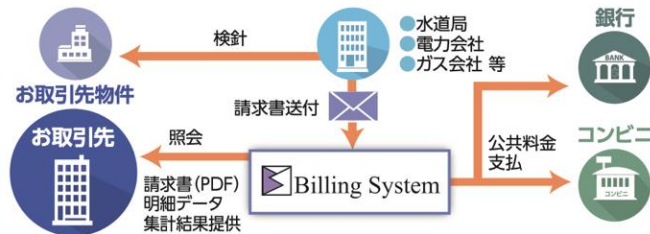


Copyright © Billing System, Inc All Rights Reserved.

3.4.2 提供サービス ① 決済支援事業

決済支援事業 公共料金支払代行

水道、電気、ガス、電話・通信等の公共料金の支払事務作業を代行するサービスです。請求書・払込票の受取、支払、支払明細データの照会機能などを提供します。



決済支援事業 送金サポート (即時送金・総合振込・給与振込)

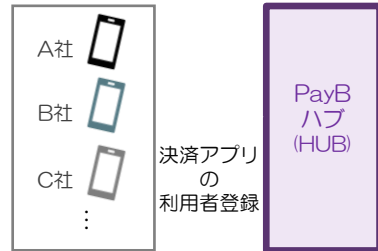
急ぎの当日振込や大量の総合振込、給与・賞与振込に対応したサービスです。お客様の振込手数料の削減、振込に関わる事務コストの削減やスピードアップに貢献します。



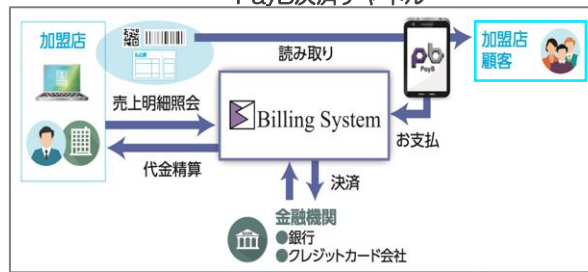
決済支援事業

PayB ハブ(HUB)は、PayB決済チャンネルと他の決済アプリを連携するハブ機能です。様々な決済アプリでPayB決済チャンネルが利用可能となり、顧客の利便性や収納率の向上に寄与します。

他の決済アプリ



PayB決済チャンネル



PayBでは、決済機関及び払込票発行機関との提携拡大を積極的に推進しています。2022年12月末現在、PayB決済の為に構築した決済機関と請求機関とを繋ぐPayB決済チャンネルでは、既に年間8億枚を超える払込票や税金納付書の決済対応が可能となっています。

このPayB決済チャンネルを、PayB以外の決済アプリに開放することで、その決済アプリは請求機関との決済チャンネルを新たに構築することなく、払込票や税金納付書の決済が可能となります。

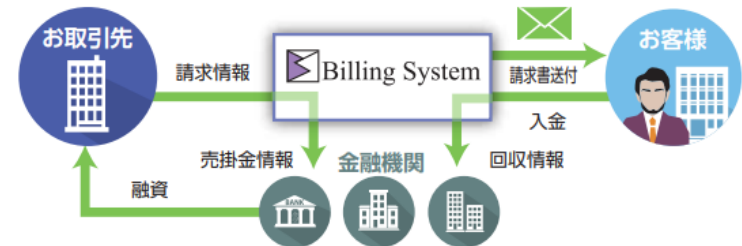
これにより、利用者は好きな支払方法で支払いができ、請求機関は利用者の利便性向上に伴う収納率の向上が図れると共に、様々な決済に対し、一元化したチャンネルでデータ受渡と収納金精算ができ、収納業務の効率化が可能となります。

Copyright © Billing System, Inc All Rights Reserved.

ファイナンス支援事業

ファイナンス取次

売掛金の請求・回収事務を代行し、お客様の請求・売掛入金管理業務を合理化するとともに、売掛金回収情報を金融機関に取次ぐことで、お客様の資金繰りを円滑化します。



3.4.4 提供サービス ③その他事業

その他事業



【第1弾】ミニプログラム活用による越境EC支援

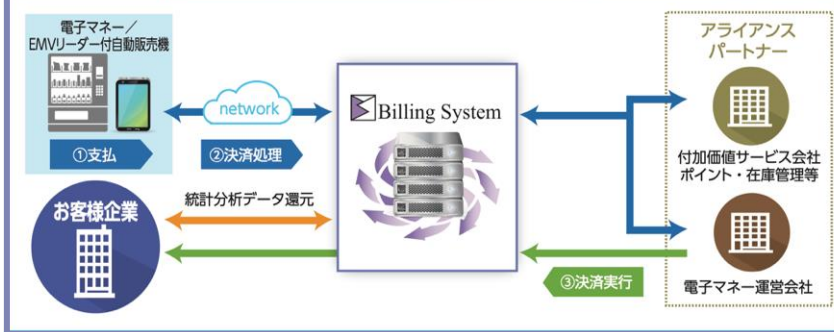
- お客様のニーズに合わせて、低コストでミニプログラムを提供します
- ・加盟店は、キャンペーン情報の発信等のマーケティングツールとして活用、国外の消費者を低コストで獲得可能。帰国後のリピート販売チャネルとしても活用可能
 - ・消費者は、いつでもどこでも、自国にない商品や好きなものを購入可能

【第2弾】決済・物流・通関までのワンストップサービスを提供予定

- 国内企業向けに、受発注、決済、物流、通関、配送までの一連のサービスの提供を予定しています
- ・国内企業に対して、販売代金全額の決済が可能なファイナンス支援サービスを提供予定
 - ・国内企業に対して、決済情報・販売/物流情報に基づく、集客及び売上拡大につながる海外プロモーションサービス等を提供予定

その他事業

キャッシュレス決済端末販売



すべてのキャッシュレス決済に対応した端末の販売と付随サービス提供

NFC技術で世界的な実績をもつOTI社との提携をベースに、世界標準のEMV クレジットカード、FeliCa電子マネー、QRコード決済など国内すべてのキャッシュレス決済に対応した無人機向け決済端末を提供

- ・自動販売機、各種屋内外無人機、店頭など場所を選ばず、電子マネーの新たな決済サービスを展開
- ・シンクライアント技術を活用し、センター集中型のハイセキュアなチャネルの構築を支援
- ・在庫管理、デジタルサイネージなど、高付加価値型の付随サービスを提供

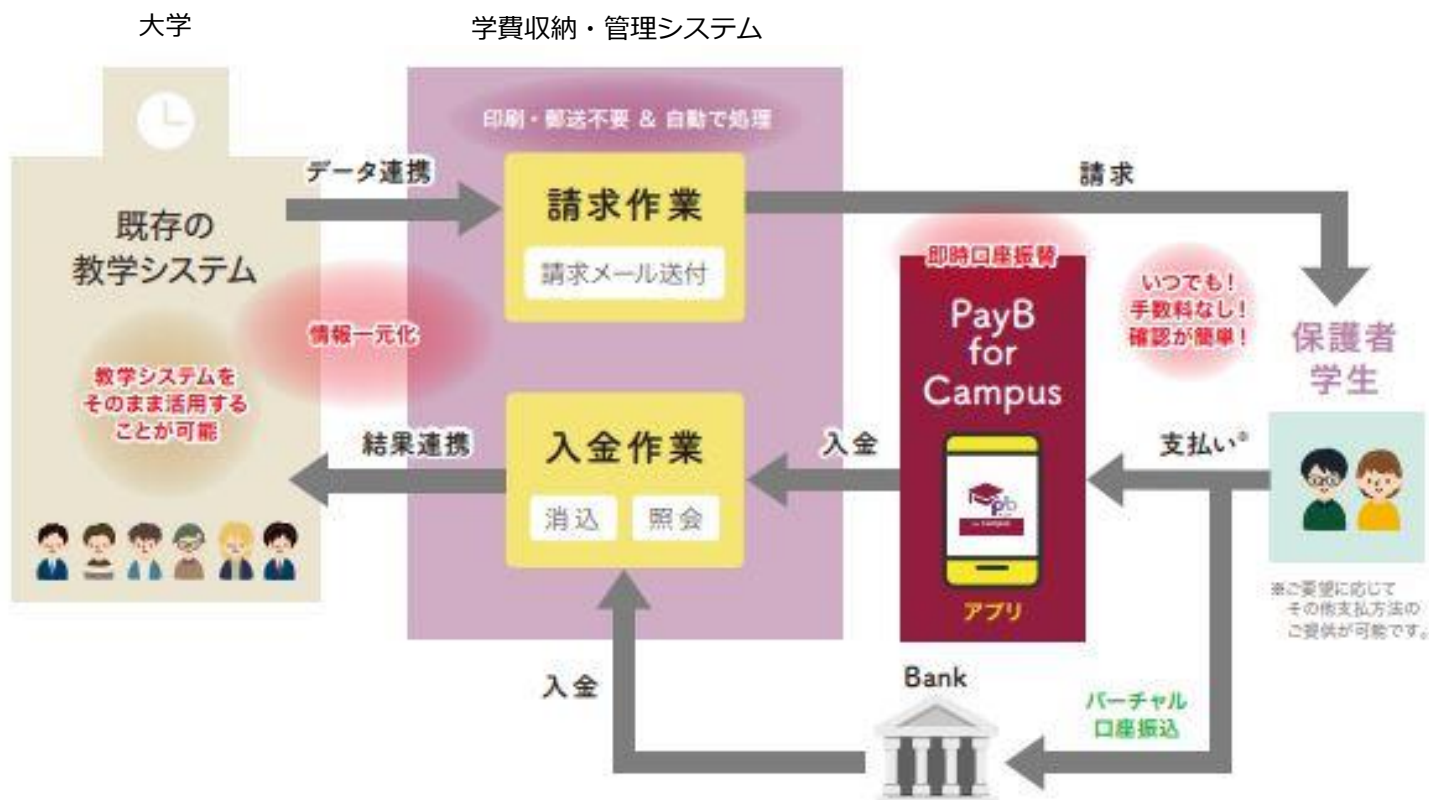
端末開発の豊富な経験と実績が業界で高く評価され、開発コンサル、開発受託、検定受託などを事業化

Copyright © Billing System, Inc All Rights Reserved.

3.4.5 提供サービス ④学費収納・管理システム

学校の教学システムと連携することで、学費収納・管理システムが、オンラインによるキャッシュレス化、ペーパーレス化を実現します。納入される学納金は当社で消込を行い、決済結果を教学システムにお渡し致します。学校の収納作業の効率化や工数削減が図れます。

学生・保護者はスマホ決済のPayB For Campusアプリを利用し、銀行店舗へ行かずに何時でも支払いが出来、振込手数料もかからない、**非対面・非接触決済**の学費納入が可能となります。



ご清聴ありがとうございました。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先
ビルングシステム株式会社 電話03-5501-4400
toiawase@billingsystem.co.jp